

## 港区立港南中学校 各教科、道徳科、特別活動、総合的な学習の時間の授業改善推進プラン

国語	昨年度の課題	2・3年ともに、登場人物の心情の読み取りは全国正答率を上回る結果となり、文学作品の内容読解は問題はないが、文法・語句に関する知識の正答率は全国正答率を下回っている。文法事項では用言の活用、敬語の活用・漢字の読み・書き・意味・短文作成など、語彙を日常生活で活用する力に課題がある。
	今年度の取組	3年生：平均73.5で、区平均72.9と上回った。聞き取り・説明文の読み取りは目標値である。漢字の書き取りは全国正答率より下回る状況であるので、定着を図るための小テストを実施する。 2年生：平均74.0で、区平均74.3と上回った。既習した漢字(小学校)の書き取りの定着を図り、文法・語句に関する知識を増やし、日常生活で活用できるようにしていく。 1年生：話の内容の聞き取り・小学校の既習漢字読みと書き・修飾語についての理解が全国正答率を下回っていることから、聞き取りテストや漢字の小テストを反復していく必要がある。
社会	昨年度の課題	1年生：正答率は区の平均より0.5ポイント以上、全国の平均より2ポイント以上上回っている。また、歴史・地理分野においても資料を読み取る思考の観点が区や都の平均を下回っている。 2年生：正答率は区の平均より3ポイント以上、全国の平均より4ポイント以上上回っている。また、平安時代と室町時代の歴史的事象の知識が区や都の平均を下回っている現状がある。 3年生：正答率は区の平均より2ポイント以上、全国の平均より3ポイント以上上回っている。また、地理分野の気候や工業地帯の資料の読み取る力が、都の平均を下回っている現状がある。
	今年度の取組	1年生：地理・歴史分野でも資料を読み取る思考力を上げるために、視覚教材や資料・地図の提示を多くし、資料から重要な事象を自分で見つけ出し、考える機会を多くする。 2年生：歴史分野において、年表を利用し、時代の流れを確認しながら、その時代に関わる資料を読み取らせることで、各時代の特徴や事象の基礎知識をしっかりと定着させるように指導する。 3年生：地理分野において、地図などの資料や雨温図を読み取ることを反復させる。また、記述の正答率が区や都の平均を下回っているため、資料から読み取った情報を整理し、自分の言葉で表現する指導を行う。
数学	昨年度の課題	2年生は1年次には区の学力調査で全国の平均を0.6ポイント下回り、活用の問題の正答率が低かった。3年生は2年次に、区の学力調査で全国の平均を2ポイント上回ったが、文字を使った式の説明や図形の性質についての証明など記述式の問題の正答率が低かった。2・3年生とも記述式の問題では、正答率が低いだけでなく、無解答の生徒の割合が多かった。
	今年度の取組	1年生は全国に比べ基礎の問題が2ポイント下回った。小学校の復習を含め小テストを定期的に行い、基礎力の定着を図っている。2年生は活用、図形、記述が全国平均より5ポイント低い。3年生は全国平均より3ポイント高い。しかし記述は全国より6ポイント低い。2・3年生は与えられた条件を整理し、道筋を立てて、証明したり、それを検討したりする活動を充実させていく。大切な用語や公式については、授業の中で繰り返すことにより定着を図る。
理科	昨年度の課題	1年生：教科の正答率は区や都の平均を上回っている。観点別では科学的思考力が区や都の平均を下回っている現状がある。 2年生：教科の正答率は区や都の平均を下回っている。また、観点別では特に自然事象についての知識・理解が区や都の平均を下回っている現状がある。 3年生：教科の正答率は区や都の平均を下回っている。また、観点別では特に自然事象についての知識・理解が区や都の平均を下回っている現状がある。
	今年度の取組	1年生：科学的思考力が区や都の平均を下回っている現状を改善するため、物事を理論的にとらえる指導を行っていく。 2年生：自然事象についての知識・理解が区や都の平均を下回っている現状を改善するため教科書にある太字を説明し理解させるようにする。 3年生：自然事象についての知識・理解が区や都の平均を下回っている現状を改善するため教科書にある太字を説明し理解させるようにする。
音楽	昨年度の課題	全体的には学習意欲は高く、どの学年も前向きに課題に取り組み、設定した目標はおおむね達成できた。自主性や技能向上に対する意欲、定期考査に向けての取り組みは学年が上がるにつれて良くなる傾向にあった。これらの意欲を持続させる中で学力を向上させるためには、教師自身が指導法を研究し、興味があつて音楽的な能力が高い生徒も、音楽を苦手としている生徒も、興味関心をもって取り組める授業になるように常に心がけていく必要がある。
	今年度の取組	授業を行うにあたり、規律ある中で楽しい授業になるように心がける。3年間を見通し、発達段階に応じた指導法や教材を工夫する。授業に対する意識付けをしっかりとさせることで、学習内容の定着を図れる方法を実践する。たとえば表現の授業では、カードを使い、「今日のゴールに対し、それを達成するための工夫を考えさせ、実践させ、振り返らせる」ということを行う。また、表現の工夫や鑑賞の活動では、身につけた技能や知識を生かし、深く考えたり積極的に意見を出し合ったりすることができるような展開を意識してとりいれていく。

## 港区立港南中学校 各教科、道徳科、特別活動、総合的な学習の時間の授業改善推進プラン

美術	昨年度の課題	<p>全学年、授業規律を守り、意欲的に学習することができた。作品制作を通して見通しを立てること、集中力を養い、達成感を得られる授業づくりに取り組むことができた。作品制作を行う上で、後半にかけて発想力や集中力の高まりが見られる生徒が多い。導入の時点で発想を広げ、想像力豊かに表現できる働きかけをしていく必要がある。</p> <p>また、美術館に出かけたことのある生徒は少なく、鑑賞の能力を高める授業が望まれる。</p>
	今年度の取組	<p>授業の中での目標をしっかりと伝えたいという授業に取り組んでいく。また、ものづくりの楽しさを知り、より意欲的に生徒が取り組めるような授業展開を心がけていく。より取り組みやすくするために常に完成を意識した声かけ、働きかけをしていく。</p> <p>また、今後は鑑賞の授業にも力を入れ、友人の作品のみならず、国内外の作品にも目を向けていく情操を養う授業に取り組んでいきたい。</p>
保健体育	昨年度の課題	<p>どの学年も意欲的に運動に取り組む生徒が多くみられる。教師の発問や投げかけに対する反応も良く、活発に活動している。運動が苦手な生徒も一生懸命取り組んでいる。新体力テストの結果から、どの学年も握力（筋力）と反復横とび（敏捷性）は高い傾向にあるが、持久走（全身持久力）、ハンドボール投げ（巧緻性）、50m走（スピード）は、全国の平均値を下回っている。運動能力には差が見られ、得意な生徒はいるものの、全体としては男女ともにC評価である。</p>
	今年度の取組	<p>学習カードやビデオ教材などを利用し各自の課題を明確にさせ、互いに教え合う集団を育成し、より意欲的に取り組む生徒集団を目指す。新体力テストの結果を受け毎時間の授業の中に、5分間走や縄跳びなどの持続的な運動や球技での単元では投力を向上させるため遠投を多く取り入れる。また、結果の良し悪しとは別に、地道な活動を根気強く続けていく精神面も鍛えていきたい。中学生の時期が一番身体能力の伸びる時期だという自覚を持たせて取り組ませていきたい。</p>
技術・家庭	昨年度の課題	<p>各学年、言語活動を有効に行い、情報の共有を図り正しい判断と処理を行い、発信を正しく行う能力を養う。</p> <p>各単元において自主的にテーマ設定と自主的な取り組みを行う。</p>
	今年度の取組	<p>1 学年：ものづくりの過程を理解し実践する。</p> <p>2 学年：エネルギー変換を利用したものづくりを通して技能を高め知識を深める。</p> <p>3 学年：情報収集～判断・処理～発信を通して、情報社会を乗り切る知識と技能を身に付ける。</p>
外国語（英語・国際）	昨年度の課題	<p>2 年生：平均75.5で、区平均71.3を上回った。語彙、文の読み取り、単語の並べ替え、3文以上の作文ではどの問題も良い結果だった。</p> <p>3 年生：平均76.8で、区平均72.3を上回った。動名詞の形が弱かったため、積極的に指導していく。</p> <p>2・3年生とも半数以上の生徒が80点以上であり、50%未満は1割前後だった。全体の語順指導や語彙指導、個別の補充指導を繰り返した成果が上がっているため、継続する。</p>
	今年度の取組	<p>2 年生：平均正答率75.8で、区平均72.3を上回った。疑問文の語法に弱点が見られるので、疑問文を生徒自らが発する活動を増やす。</p> <p>3 年生：平均正答率78.5で、区平均73.6を上回った。語形・語法と語彙がやや弱いので、そこに焦点を当てた指導をしていく。</p> <p>2・3年とも分布図で90～100の山が一番高い。今後も表現活動を重視しつつ、全体の語順指導や語彙指導、個別の補充指導を続けていく。</p>
道徳	昨年度の課題	<p>『特別な教科道徳』移行措置対応 東京都道徳教育教材集を活用して、「考え、議論する道徳」の授業実践を通して、指導方法の研究を実施し、全教員で取り組めたことは成果であったが、教材・ワークシート・板書のユニバーサルデザイン化と共有化を図ることが課題である。道徳の授業で学んだこと・これからの生活に生かしていきたいことを振り返る時間の確保が必要であることから、授業の時間配分を検討する必要がある。</p>
	今年度の取組	<p>通知表に学期ごとに80字以内で評価を記載する取組を実践した。学期の最後にまとめの振り返りを生徒にさせ、そこから一番印象に残ったもの・日常生活で実践していることをもとに評価の記載をしている。また、家庭への発信として、学年便りとともに道徳通信を掲載し、授業のねらいや生徒の様子、家庭における実践もふくめ、保護者への理解を得られる工夫をしている。ローテーション道徳を実践し、担任だけでなく、学年の副担任も授業を実施することで、全教員が授業と評価に関わることができている。</p>

## 港区立港南中学校 各教科、道徳科、特別活動、総合的な学習の時間の授業改善推進プラン

特別活動	昨年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決に向けて、計画を立て、それに基づいて取り組める力</li> <li>・集団のために働く意欲や生活上の諸問題を話し合っ解決する力</li> <li>・事実や条件を整理して、新たな課題を発見する力</li> </ul> 以上の点について生徒の資質や能力の育成が十分でない状況がある。
	今年度の取組	学校行事、生徒会活動への主体的な取組を通して社会性、協調性を培う。さらに、集団や社会の一員として自ら進んで責任を果たす態度と自己を生かす能力を育てる。生徒が主体的に取組、自分たちの手で作り上げていく行事を推進し、一つ一つの行事を通して健全な心身と豊かな情操を培う。
総合的な学習の時間	昨年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会や世の中の動きへの関心、意欲および情報の収集、整理する力</li> <li>・自信をもって、はっきりと自分の意思が表明できないこと</li> </ul> 以上の点について生徒の資質や能力の育成が十分でない状況がある。
	今年度の取組	発達段階に応じた各学年のねらいを定め、「防災」と「共生・伝統・文化」「環境」をテーマに系統性を重視した指導に留意する。防災に関する基本的な知識・技術を習得し、災害時において救助、救援などを率先して、自助・共助・公助が行える実践力を育てる。また、命の大切さや尊さを理解するとともに、地域を愛する気持ちを育てる。